



通し行進者 尾崎 庸美さん⇒

7月20日、島根からは15名が参加。

鳥取県から引き継ぎ式は、鳥取自治労連の青年も参加し、例年以上に賑やかな引き継ぎとなりました。

7月30日まで行われる島根県内の平和行進を成功させるため、10日間一緒に頑張りましょう。

長崎県出身です。被爆2世として核兵器廃絶を訴えるため参加しました。最後まで皆さんと一緒に歩きます。

7/21 安来行進

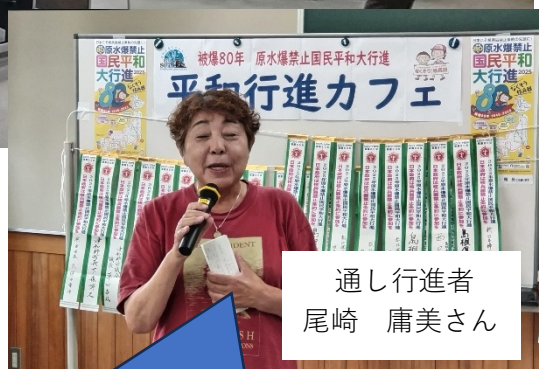


安来駅前出発式

7月21日、安来市内を19名の参加で行進しました。今年は保育園の仲間や新しい参加者もいて、新鮮な行進となりました。最年少は小学3年生。安来プラーナまでの行進の後、署名行動を行いました。成果は24筆、2,000円の募金がありました。



平和行進 カフェ



通し行進者
尾崎 庸美さん

両親、祖父母、兄が被爆。家は全壊。梁が兄の寝ていた布団に刺さっていて間一髪で逃げて助かりました。被爆2世として核兵器廃絶の運動に関わってきました。世界大会の時は遺構ガイドを務めています。今回、仕事を辞め、初通し行進ですが、行進先では新しい出会いがあり人のつながりの不思議を感じながら歩いています。

7月21日、午後からは、通し行進者の尾崎さんを囲んで「平和行進カフェ」を行いました。参加者は20名。抹茶に舌鼓を打ちながら尾崎さんのお話や原水協の西尾さんから被爆直後の話、後半は被爆80年の原水爆禁止世界大会成功に向けた参加者の決意表明と世界大会のパンフ学習を行いました。



広島大会に参加する皆さん

「久々に大会に参加します。被爆者の思いをしっかりと受け継ぎたい」
「家族で参加します。新婦人では長崎にも3名が参加します」



原水協代表理事 西尾幸子（93才）

建物疎開の作業に出ていた女学校の同級生223人は全員亡くなりました。彼女たちは生まれてから戦争一色の人生でした。戦争がなかったらどんなに楽しく、豊かな生が送れていたのではないかと思います。同級生の無念を忘れないでください。

7月22日は松江市内行進です。18時テルサ前にお集まりください！